

施設生産システム学

HOME 学部・大学院 農学部 学部紹介 施設生産システム学専門教育コース

専門教育コースの教育理念と教育目的 専門教育コースのディプロマ・ポリシー 専門教育コースのアドミッション・ポリシー
専門教育コースのカリキュラム・ポリシー

専門教育コースの教育理念と教育目的

地球の温暖化や異常気象により、農作物を取り巻く環境が大きく変化していますが、植物工場などの施設を利用した生産は、気象条件の影響を受けにくく、環境の最適な制御によって高品質な作物を生産できます。また、農薬などの管理も可能となるため、消費者にとって安全なだけでなく、環境低負荷の生産が実現可能となります。

本コースは、植物工場を初めとする施設を利用した農業生産の発展、普及を目指して、これらに必要なさまざまな知識・技術に関する教育研究を行い、新しい農業生産システムによる食料の安定的供給を通して人類の福祉に貢献できる技術者を養成していきます。



卒業後の進路

就職先については企業がほとんどで、公務員や教員に数名程度就職しています。就職先の企業種は、農業機械・農業機械関連などの施設・機械の製造業、種苗関連業、コンピュータなどの情報通信関連業、食品の加工・製造・販売業、JA等の団体や銀行などです。大学院進学率は、10～50%程度です。

取得可能な学位

学士(農学)

取得可能な資格

中学校教諭一種免許状(理科)
高等学校教諭一種免許状(理科, 農業)
学芸員資格
愛媛大学食育士

[ページの先頭へ戻る](#)

専門教育コースのディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、卒業時に必ず身につける能力)

1. 植物工場をキーワードとする新たな食料生産システムに関する基礎的な知識・技術を有し、以下に示すような、環境、植物または自動化に関するより具体的な知識・技術を修得している。(知識・理解)
 1. 園芸施設や植物工場などの食料生産施設における環境制御、計測・制御システム、生産から流通過程にわたる情報化、さらに居住空間におけるグリーンアメニティに関する専門知識を有し、技術を修得している。
 2. 植物育種と種苗生産、植物生理と生態、植物生体計測に関する専門知識を有し、技術を修得している。
 3. 食料生産プロセスの機械化とロボット化、機械装置の設計と管理、人間-機械系と人間-環境系、および流通過程のポストハーベスト・テクノロジーに関する専門知識を有し、技術を修得している。
2. 循環型社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、資源、環境に関連する諸課題を論理的に思考、判断することができる。(思考・判断)
3. 上記の諸課題を解決するため、協調性と高い倫理性に基づいて、自律的・継続的に取り組むことができる。(態度・関心・意欲)
4. 自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。(技能・表現)



専門教育コースのアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針, 入学時に問われる能力)

農学部は、地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題を解決し、自然と人間が調和する循環型社会の創造に貢献できる人材を養成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、また、農学が広範な総合科学であることを考え、食料・資源・環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、多様な能力・適性をもった学生を受け入れることを、アドミッション・ポリシーとしています。



1. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な知識を有している。(知識・理解)
2. 次のいずれかに該当する。
 - A. 高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの課題を解くことができる。
 - B. 農業・生物資源または工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有している。
 - C. 高等学校で選択履修した教科・科目について、実践的・体験的学習から得られた知識・知見・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(関心・意欲、態度)

地域社会や国際社会における食料・資源・環境に関する様々な問題に関心を持ち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲を持っている。

(技能・表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

専門教育コースのカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針, カリキュラムの特徴・特色)

カリキュラムの概要

人工的な栽培環境による食糧生産の場として代表的な植物工場は、種苗生産、環境制御、植物生理および生態、機械化、自動化、収穫後の流通、生産から流通過程に亙る情報化など多様な専門領域によって支えられています。施設生産システム学専門教育コースは、このような複合領域である植物工場を対象に、専門職業人と研究者の養成を目的として教育に当たります。カリキュラムは必修、選択必修、選択、自由科目により、学生の学習希望に柔軟に対応できるものとし、専門教育コース分属時および教育分野分属時における教員による履修ガイダンスと併せて、効果的な履修運用をはかります。

すなわち、専門教育コース分属直後の2年次後学期には、多様な選択必修科目を配置し、学生の希望に対応すると同時に、幅広い基礎知識を涵養します。また、専門領域と卒業後実社会との繋がりや関わりを提示して、学生がこれから学習する科目の意義を明らかにします。3年次には、本専門教育コースに共通する必修科目と並列して、主に選択科目を配置し、選択履修を促すことによって専門性を高めます。また、分属した教育分野における卒業研究の準備を開始します。4年次には、所属する教育分野が提供する選択科目を中心とした科目配置とし、専門性をさらに高め、卒業研究を完成させます。

カリキュラム・マップ

施設生産システム学専門教育コース・カリキュラムマップ (PDFファイル 56KB)